

委員の皆様からのご意見・ご質問について（回答書）

先日の、第4回岸和田市立小中学校等規模及び配置適正化審議会を受けまして、委員の皆様から頂きましたご意見・ご質問及びそれに対する事務局の回答は下記のとおりです。

【松山委員からのご意見・ご質問】

(1)

現在子どもを通う天神山小学校におきましては、数年前より幼小一貫校として新たに学校運営が始まりました。

保護者としても、より良い教育環境の中、軌道に乗って来ているところと伺えます。またPTAの組織も幼稚園と小学校が協力し合う中、つながりを大切に考えて、活動しております。

この点について配慮などまたお聞かせ願えると有難いです。

(回答)

ご質問は今後の幼小連携のあり方についてだと思います。

現在、市内の多くの市立幼稚園においても小規模化が進み、子どもたちにとって望ましい集団の規模という点において課題が出ている一方で、市立保育所では待機児童の課題が顕在化しており、市では今年度から市立幼稚園及び保育所の今後のあり方を検討する専門委員会を立ち上げ、市立就学前教育保育全体の今後の再編計画の策定を予定しています。

松山委員ご指摘のとおり、幼児教育と、小学校教育をつなぐ幼小接続の重要性については教育委員会としても認識しているところですので、そのあたりも踏まえた今後の望ましい幼児教育から小中学校教育について引き続き検討してまいりたいと考えています。

【浦嶋副会長からのご意見・ご質問】

(1)

資料④の(2) 望ましい学級規模について、

…1学級あたりの望ましい学級規模の基準については次のとおりとします。

と表記されていますが、説明では望ましい実人数のことだということだったので、基準という表現は編成基準と混同する可能性があるので避けた方が良いと思います。

引き続き、小学校の英語教育や高学年での教科担任制、或は、小中高間における体系的なキャリア教育などの教育課題と関連付けながら議論できればと思います。

(回答)

資料④を修正しました。